

内田地区町会連合会・各町会の現状と課題

令和5年1月20日（金） 市長と住民の「こんだん会」資料

内田地区町会連合会

地区の運営について

- 町会連合会は、地区運営の「扇の要」的な位置にあり、多くの組織に町会連合会が関与する構造となっている。
- 地区運営の最高意思決定機関は町会連合会の総会
 - 代議員制を採り、各町会から10戸に1名の割合で選出
 - 総会の議決権は代議員にのみに付与している。
 - 代議員制を採る地区は市内に3地区のみで、そのうち議決権を代議員に限定しているのは内田地区のみ。

役員改選

- 各役員任期は2年。地区内のほぼすべての役員が一新される。
- 令和4年度は2年目の年で、各町会は現在新体制確立のため大変な調整作業に当たっている。
- 人口が少なく、高齢者も多いため、様々な事情を抱えていても役職を受けてもらっていることが多い。

行政から選出依頼される役員

- 民生・児童委員など行政から選出依頼される役員は各町会長が主体となって選出を調整。受ける方も、依頼する方も大変な労力
- 健康づくり推進員は、次の理由から、令和5年度以降も継続して活動する予定。
 - 女性の役員参画を減らしたくない。
 - 活動を通じて保健・福祉の知識をつちかった人を増やし、将来の民児協委員候補のすそ野を広げる。
 - 健康づくり課による同推進員活動に対しての、一層の強い関与を希望している。

行政へのお願い

●考えていただきたい。

○少子高齢化や個人の生活や価値観の変化がみられる中で、行政が求める多くの組織や役員の人数が本当に必要か。

○必要だとすれば、その組織への行政の関りを強くできないか。→ 住民・役員の負担が減らせないか…

地区の課題として感じていること①

●不法投棄

○不法投棄防止のため、地区では年3回の一斉清掃や河川堤防の草刈りを実施している。

○地区の手に余るような大量投棄などの困難事例が起きないように、不法投棄防止の対策を強化してほしい。

地区の課題として感じていること②

●太陽光発電所

- 現在、建設中の太陽光発電所が1か所ある。
- 地区としては、とりあえず反対はしていないが不安を感じる。
- 担当職員は、書類審査だけではなく、現場を見に来てほしい。
- 今後制定する条例は、事業者に対し、強い指導力を発揮できるものとしてほしい。

地区の課題として感じていること③

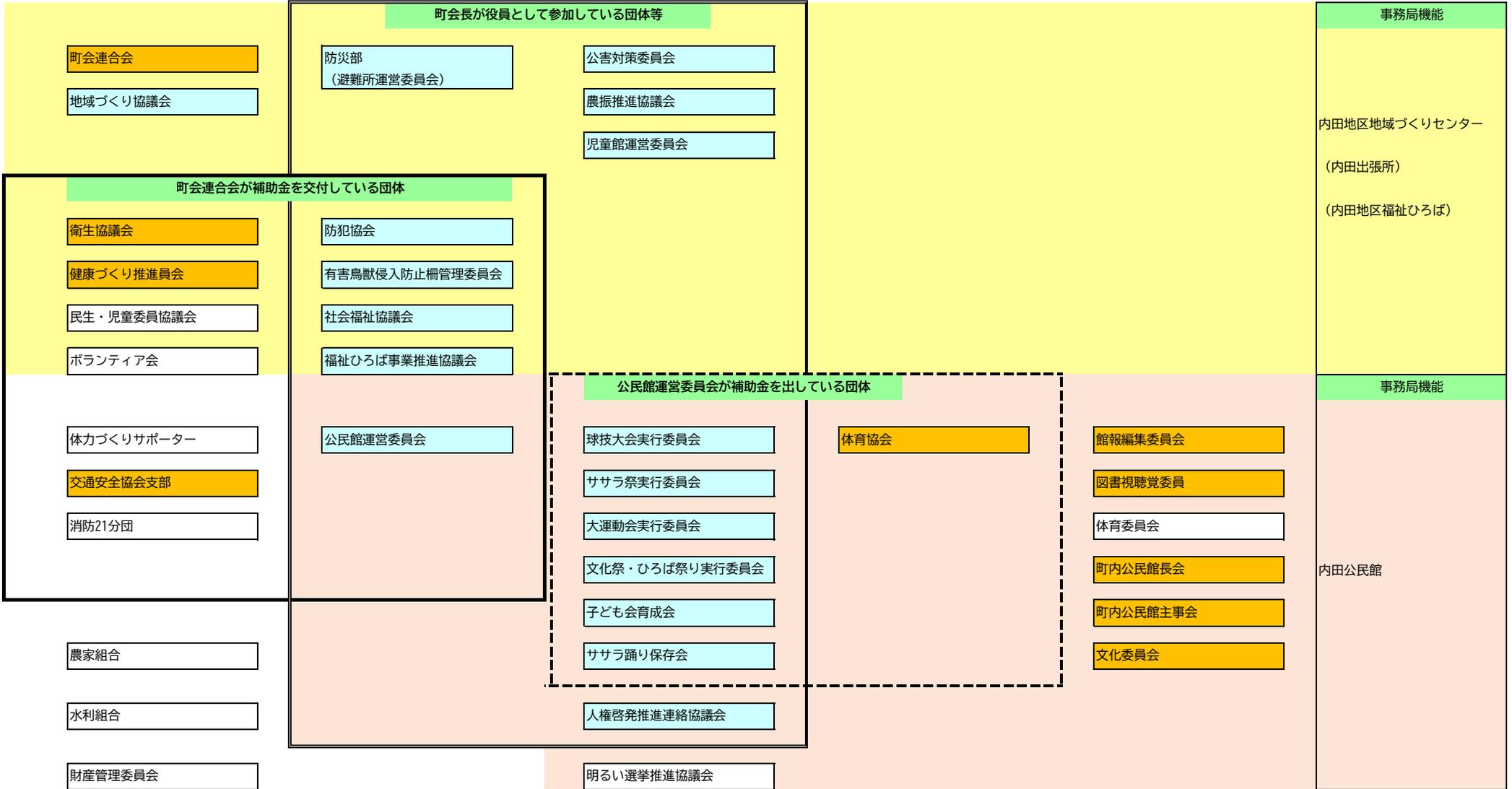
●公共交通

- 現状の内田線の在り方のままでは、高齢化が進む地区の活力は維持できない。
- 松原地区と内田地区をつなぐ循環バスがあれば内田の住民が寿台東口バス停を利用しやすくなる。
- 高校生の通学のために寿台東口バス停付近に駐輪場を設けてあればバスを利用しやすくなる。
- 寿台東口バス停を東南部のバスステーションとして開発したらよいと思う。

内田地区組織団体図

 単位町会選出の委員等による団体
 複数の団体で構成される組織

 事務局機能等として出張所が連携
 事務局機能等として公民館が連携



「令和4年度 内田地区高齢者対象アンケート調査 集計結果」から抜粋

1 調査実施期間

令和4年9月5日（月）から令和4年9月23日（金）

2 対象者

内田地区内に住む75歳以上の方（施設入所者以外の方） 353人

3 回収率

(1) 回収件数 217件

(2) 回収率 61.5%

問13 あなたが外出（買い物・通院など）する際の交通手段は何ですか。（複数回答可）

- ①公共交通（路線バス・電車等） ②自動車（自分で運転） ③自動車（同居の家族に乗せてもらう） ④自動車（同居していない家族・親族に乗せてもらう） ⑤自動車（友人・近所の方に乗せてもらう） ⑥オートバイ
⑦自転車 ⑧シニアカー ⑨タクシー ⑩徒歩 ⑪その他

項目	人数	比率
①公共交通（路線バス・電車等）	15人	7.1%
②自動車（運転者は自分）	125人	59.0%
③自動車（運転者は同居家族）	68人	32.1%
④自動車（運転者は別居の家族・親族）	13人	6.1%
⑤自動車（運転者は友人・近所の方）	3人	1.4%
⑥オートバイ	2人	0.9%
⑦自転車	8人	3.8%
⑧シニアカー	1人	0.5%
⑨タクシー	7人	3.3%
⑩徒歩	10人	4.7%
⑪その他	1人	0.5%
計	212人	119.4%

